



東中学校だより(8) 令和3年8月20日

莞あかくそびえて建てり 校歌の一節より

佐久市立東中学校 〒385-0007 佐久市新子田 1396-1 Tel.67-2392 文責:召田幸司(教頭)



87日間の2学期はじまる！

夏休みが終わり、8月19日に2学期始業式が行われました。各学年の代表生徒がそれぞれに語ってくれた内容は、1年生の仲澤慶太さんは「挑戦と最後までやりきる」について、2年生の中澤彩月さんは「憧れの先輩になるために」について、3年生の水澤蓮さんは「家庭での過ごし方」についてでした。それぞれ確固たる志をもって2学期を過ごしていこうとしていました。

時間の都合で全てを話されませんでしたので、ここで校長先生が考えておられた全文を紹介します。「自主的に行動する」東中生になっていきましょう。

「自主的に行動する」力

夏休みが終わって、いよいよ2学期の始まりです。一番長い2学期には、文化祭、新人戦、生徒会引き継ぎ、3年生は入試に向けた準備があります。忙しいですが、充実した学期になります。

2学期の中で、皆さんに1つやってほしいことがあります。それは、グランドデザインの中にあるのですが、「自主的に行動する」力をつけることです。その方法として、次の3点を挙げたいと思います。

- ①感情をコントロールする
- ②見通しをもって行動する
- ③建設的に自分の意見を述べる

です。この3点が、「自主的に行動する」、つまり一人の人間として自立できるための具体的な方法だと考えます。

では具体的にどうしたらいいのか、例をあげてみます。例えば「①感情をコントロールする」についてみなさんは自分の感情、特に怒りや悲しみなどのマイナスの感情をどうやってコントロールしていますか。例えば、給食を配る列に割り込んできた人がいたとします。そのとき皆さんならどうしますか。考えられる例としては

- 1、ちゃんと並んでよ、と注意する。
- 2、どうせそんなに変わらないから、と黙っている。
- 3、「んっん」と、咳ばらいする。
- 4、その他

などがあるでしょう。この場合、注意したくなるのは当然です。ただ、その人がひょっとしたら委員会活動で早く準備しなければならないというような事情があるかもしれません。どんな方法をとれば良いかは、その時の状況を見ながら考えることが大切です。同時に、並んでいる列に理由もなく横入りはしない、どうしても必要な場合は声をかける、などのコミュニケーションが必要です。こうして感情をコントロールしながら人間関係を作っていくことが、自立していく上で大切です。

次に「②見通しをもって行動する」についてです。これはすでにみなさんやっているといます。例えば期末テストなど、テスト範囲が配られますね。それを確認して、1日にどれくらい勉強すればよいかを見て割り振って計画をたてます。そしてテスト当日に備えます。何の備えもなく、いきなりテストを受けるのは、無謀というものですし、それでは物事をやろうとしても準備ができない人になってしまう。またこれは、日常生活にも当てはまります。例えば家に帰った後の時間の使い方。11時に寝るとしたら、勉強や食事、入浴などの時間をどう使ったらよいか、ゲームをやる人は、どのくらいの時間なら他のやることに影響が出ないか、考えます。そうやって自分の時間をマネジメントできることが、大人になっていくうえでとても大切です。

最後に「③建設的に自分の意見を述べる」についてです。例えば、クラスの発表会での出し物を決めるときに、いろんな意見が出ます。その時、自分はどの意見に賛成か、仲のいい友達の意見に賛成するのか、それとも自分でいいと思った意見に賛成するのか、難しい判断になることがあります。そんな時、どの内容がより良いものか、クラスのためになるのはどれなのか、様々な角度から考えて、いいと思ったものに賛成する、ということが大切です。これは実は難しいことです。大人でさえも、全体の意見に流されたり、人間関係に縛られたりすることがあります。ですが、そんなときにも自分で「ああ、今の自分は人間関係に縛られているな」と自覚する、そして次に生かそうとすることが大切です。

いま3つの点を述べましたが、これは目標ですから、すぐにできなくてもいい。でも、社会に出るまでに、できれば中学校を卒業するまでにはつけてほしい力です。そうすれば、高校に進学しても、きっと充実した生活を送れると思います。そんなことを頭の隅に置きながら、同時にコロナ対策をしっかりと行って2学期を送ってもらえればと思います。



〈テレビ放送による始業式〉

1・2年の宿泊行事成功！

昨年度は宿泊行事が実施できない一年間でしたが、今年はコロナ対応を行いながらの宿泊行事を計画してきました。夏休み中に感染状況を踏まえつつ1・2年の宿泊行事をなんとか実施することができ、学び多き2日間をそれぞれの学年が経験できました。

(1) 1年臨海学習〈7/27(火)～28(水)〉～上越臨海学習～



水しぶきを浴びながらのイルカショーでは飛び交う歓声。台風8号が接近の中、生徒たちの「思い」が強かったからこそ「思いがけず」も海水浴・キャンプファイヤーも実現。クラス・学年の絆をより深めた2日間となりました。

(2) 2年登山学習〈7/28(水)～29(木)〉～八方尾根登山～



生徒たちの願いが通じたのでしょうか、最後のリフトを降りた時には雨もやみ、カッパを脱いで登山がスタート。すれ違う一般の方々に「こんにちは」と爽やかな挨拶。ガスが晴れ、白馬の山々の雄大さを目にする「すげえ!」「きれー」と感嘆の声。2学年の良さがたくさん見られた2日間でした。